

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	食品開発科学科		
科目名称	薬理の知識						授業形態	講義	
科目コード	531103	単位数	4単位	配当学年	3	実務経験担当教員		○	Active・L
担当教員名	吉田 博文							ICT活用	
授業概要	本講義では、食品開発科学科の学生が将来的に関わる可能性のある「医薬品と食品との相互作用」や「臨床検査値の読み取りと健康管理」、「薬の作用機序とその応用」について、薬理学の基礎からわかりやすく学びます。特に食品衛生管理者やフードスペシャリスト等の資格取得にも関連する、薬の分類・体内動態・副作用、検査値の意味などを取り上げ、食品開発や安全性評価に必要な専門知識と応用力を養うことを目的とします。食品と医薬品の境界を横断する知識を身につけ、健康と食の架け橋となる視点を養成します。								
関連する科目									
授業の方法と進め方	本授業は講義形式で行い、毎回90分間で完結する内容を設定します。初めにその日のテーマについて導入とポイントの提示を行い、その後、教員による解説を中心にスライドや板書を用いて進じます。授業内で確認問題を実施し、学生自身がその場で知識の理解度を確認できるようにします。また、講義の終盤には、その日の内容を簡潔に振り返り、次回の予告を行うことで学習意欲を高めます。 レポート課題や小テストは適宜行い、知識の定着と応用を図ります。								
授業の達成目標	医薬品と食品の基本的な相互作用やリスクを理解する 食品開発・加工の現場で必要とされる薬理学的基礎知識を習得する 臨床検査値の読み方を通じて、健康管理と食品設計の視点を養う 食品衛生管理者・フードスペシャリスト等の資格取得にもつながる専門知識を身につける								
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(3)								
授業時間外学習【予習】									
授業時間外学【復習】									
課題に対するフィードバック									
評価方法・基準									
テキスト									
参考書									
備考									